

レプトスピラ症に気をつけよう

沖縄県衛生環境研究所

Q 1. レプトスピラ症^{しやう}ってなあに？

A. レプトスピラ症^{しやう}は、病原性^{びやうげんせい}レプトスピラという細菌^{さいきん}（図1）の感染^{かんせん}によって引き起^ひこされる人畜^{じんちく}共通^{きゆうつう}の感染症^{かんせんしやう}です。

Q 2. レプトスピラ菌^{きん}はどこにいるの？

A. 感染^{かんせん}した動物^{どうぶつ}の体内^{たいない}（腎臓^{じんぞう}）に潜^{ひそ}んでおり、尿^{によう}中にレプトスピラを排菌^{はいきん}して、土壌^{どじやう}や川^{かわ}を汚染^{おせん}します。

特にネズミ^{とく}は感染^{かんせん}すると1年以上^{ねんいじやう}も保菌^{ほきん}動物^{どうぶつ}となり環境^{かんきやう}を汚染^{おせん}します。レプトスピラは土壌^{どじやう}、水^{すい}中で数週間^{すうしゆう}生存^{かんのう}が可能です。

Q 3. どうやって人^{ひと}や動物^{どうぶつ}に感染^{かんせん}するの？

A. 人^{ひと}への感染^{かんせん}はレプトスピラに感染^{かんせん}した動物^{どうぶつ}の尿^{によう}に汚染^{おせん}された土壌^{どじやう}や水^{みず}との接触^{せつしよく}により皮膚^{ひふ}の傷^{きず}、鼻^{はな}や目^めの粘膜^{ねんまく}を通過^{つうか}して体内^{たいない}に侵入^{しんにゆう}します。

Q 4. 保菌動物^{ほきん}となる動物^{どうぶつ}の種類^{しゆるい}は？

A. 多く^{おほ}の野生動物^{やせいどうぶつ}や家畜^{かちく}、愛玩動物^{あいがんどうぶつ}は感染^{かんせん}すると保菌動物^{ほきんどうぶつ}となる場合^{ばあい}があります。沖縄県^{おきなわけん}ではネズミ、ブタ、イヌ、ネコ、マンガースからレプトスピラ菌^{レプトスピラ菌}が検出^{けんしゆつ}されています。

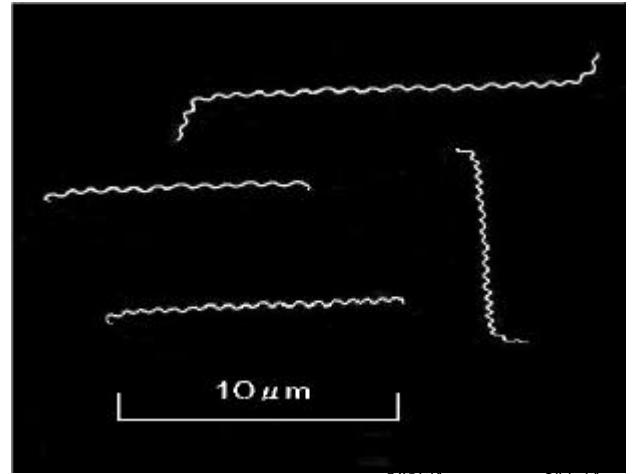
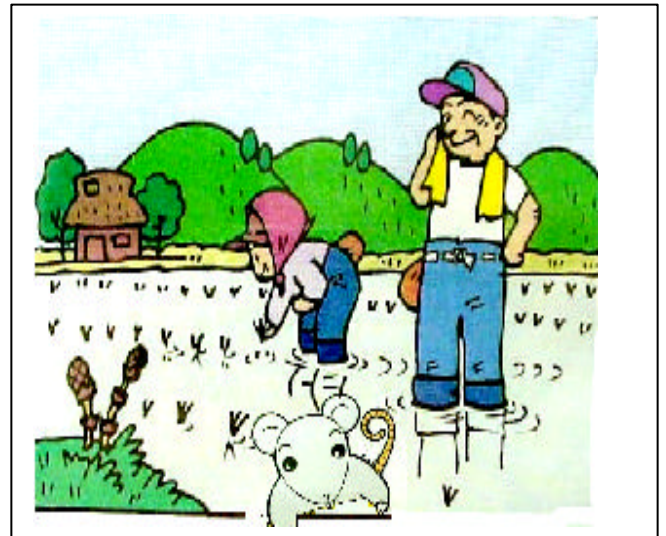


図1 病原性レプトスピラ（1 μm = 0.001mm）

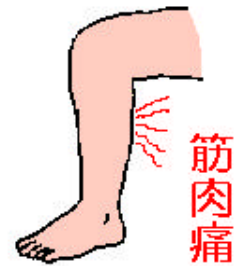


Q 5. 発症^{はつしやう}した人^{ひと}から健康^{けんこう}な人^{ひと}へうつることはありますか？

A. 人^{ひと}から人^{ひと}への感染^{かんせん}はほとんどありません。

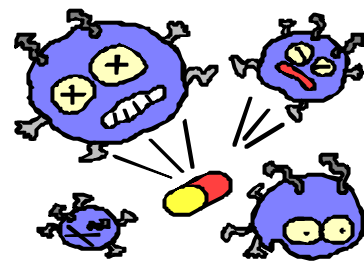
Q 6. 感染するとどんな症状がでるの？

A. 感染から3～14日間の潜伏期のあと突然の頭痛、発熱(38以上)筋肉痛、眼結膜の充血が主な症状です。重症になると黄疸、腎障害等の症状がでて、治療しないと致死的な経過をとることもあります。



Q 7. 有効な治療薬はありますか？

A ペニシリン、ストレプトマイシン等の抗生物質が有効とされています。



レプトスピラ症の感染サイクル

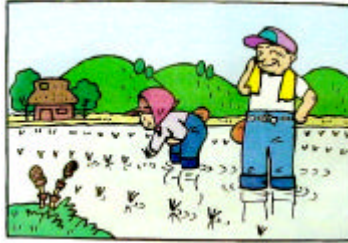
野生動物

げっ歯類、マングースなど



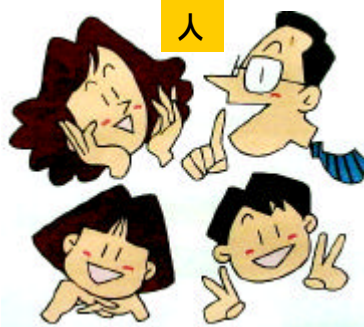
環境

水田、川、池、沼地



経皮感染

人



ペット

犬、猫など



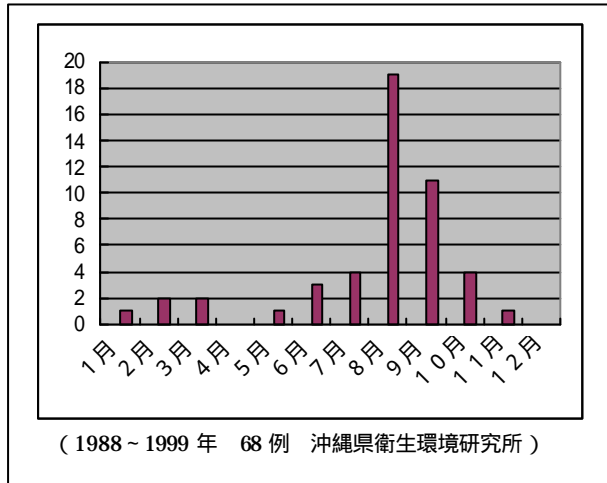
家畜

豚、牛、山羊など

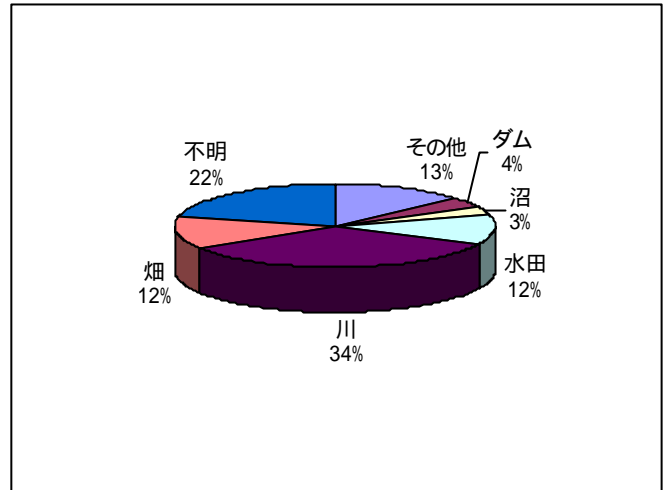


沖縄県における状況（1988～1999年）

感染の多い月

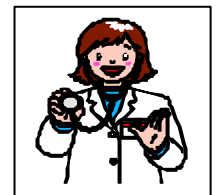
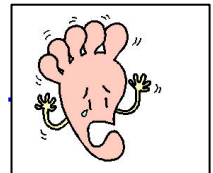


感染の多い場所



予防のポイント

1. 皮膚に傷がある場合は、水田や川に入らないこと
2. 素足で長時間水田や川に入らないこと
皮膚がふやけてくると感染することがあります。
3. 特に7月～10月の間は気をつけること
4. 水田や川に入った後、突然の発熱、頭痛、
筋肉痛の症状がでたら、すぐにお医者さんに診てもらうこと。



問い合わせ先

おきなわけん えいせい かんきょう けんきゅうしょ びせいぶつしつ
 沖縄県衛生環境研究所 微生物室

でんわ
 電話098 - 945 - 0785

FAX 098 - 945 - 9366